

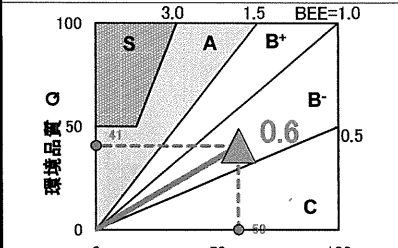
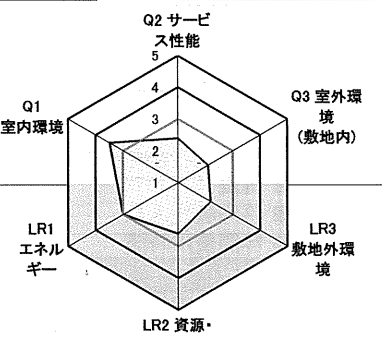
CASBEE[®]-建築(新築) 評価結果

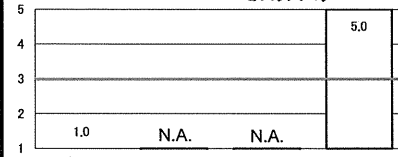
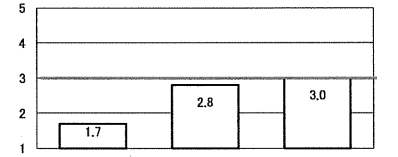
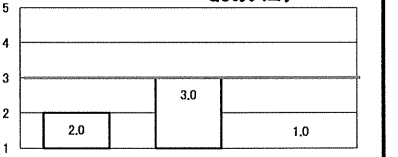
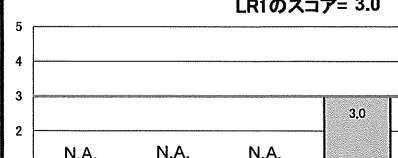
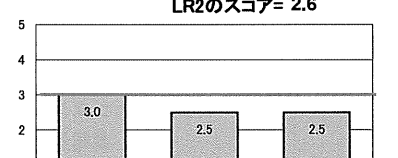
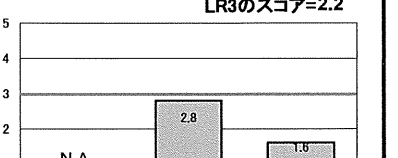
■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_改訂版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)タテロ様倉庫【倉庫棟】	階数	地上1階
建設地	京都府八幡市八幡一ノ坪80番2、11	構造	S造
用途地域	準工業地域 22条区域内	平均居住人員	XX 人
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025.10.1 予定	評価の実施日	2024.11.28
敷地面積	9,193 m ²	作成者	(株)三煌産業 一級建築士事務所
建築面積	3,846 m ²	確認日	2024年12月25日
延床面積	3,960 m ²	確認者	〇〇〇

外観パース等

図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 0.6 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 	標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ 0 46 (kg-CO₂/年・m²) このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q のスコア = 2.6		
Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.5	Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.4	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.1
		
LR のスコア = 2.6		
LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.0	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.6	LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.2
		

3 設計上の配慮事項		
総合		
近隣環境に配慮し、標準的な配慮を行った。		
Q1 室内環境 標準的な配慮を行った。	Q2 サービス性能 標準的な配慮を行った。	Q3 室外環境(敷地内) 標準的な配慮を行った。
LR1 エネルギー 太陽光発電システムを敷地内の別棟に設け自然エネルギーの活用に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 内装建材にF★★★★を使用した。	LR3 敷地外環境 緑地を計画し、近隣環境に対して配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される